

平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト
 コード番号 8798 URL <http://www.advancecreate.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画本部長 (氏名) 村上 浩一

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日 配当支払開始予定日

TEL 06-6204-1193
 平成23年6月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	3,964	21.7	984	208.1	773	414.6	364	165.4
22年9月期第2四半期	3,259	5.0	319	22.2	150	30.4	137	90.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	3,351.89	3,322.93
22年9月期第2四半期	1,251.96	1,246.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	8,201	4,639	45.1	34,223.22
22年9月期	7,837	4,607	45.8	32,784.14

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 3,699百万円 22年9月期 3,587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	1,500.00	—	1,500.00	3,000.00
23年9月期	—	1,500.00	—	—	—
23年9月期(予想)	—	—	—	1,500.00	3,000.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,750	14.4	1,550	102.2	1,300	202.7	650	45.7	5,994.26

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年9月期2Q 109,991株 22年9月期 112,391株

② 期末自己株式数 23年9月期2Q 1,880株 22年9月期 2,963株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年9月期2Q 108,764株 22年9月期2Q 109,733株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている当社の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

当社は、平成23年5月16日に機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、成長著しい新興国経済を背景に輸出の拡大や経済対策により、緩やかな回復基調で推移しましたが、雇用情勢は依然として厳しく、為替の急激な変動や海外経済の減速懸念、そして平成23年3月に発生しました東日本大震災により今後様々な影響が予想され、先行きに不透明さを増す状況となっております。

このような状況の下、当社グループは、「お客様が最適・快適な購買環境で、簡単便利に保険を購入いただく」ことを基本方針とし、あらゆる保険ニーズに対応できるプラットフォーム戦略を推進し、お客様のニーズに機敏に対応してまいりました。

当社の基幹である日本最大級の保険比較サイト「保険市場（ほけんいちば）」は、パソコン・モバイルはもとより、iPhoneに代表されるスマートフォンにも対応する中で「保険のプラットフォーム」として多数のお客様にご利用いただいております。本サイトにおいて「保険情報」の提供と合わせ「資料請求・来店予約・契約締結」等の「一気通貫型のサービス」を提供しながら、圧倒的な集客力を確保し、新規契約の増加につなげております。

また、「保険市場（ほけんいちば）」サイトにおきましては、近年メディア価値の飛躍的増加で注目を集めているFacebookやTwitterなどのソーシャルメディアと総称されるインターネットツールを新たなマーケティング開発ツールとして、その活用策の研究をすすめるなど更なる進化と発展を目指しております。

一方、パソコン・モバイルを利用した資料請求の増加とテレマーケティング部門の増強に伴い、お客様からの「問合せ・相談」が着実に増加しておりますので、その情報をベースとして、元受保険会社及び来店型保険ショップやコンサルティング営業を展開する他の保険代理店と協同して対応する「協業」戦略を強化し、当社の来店型店舗の「保険市場（ほけんいちば）」26拠点と合わせて272拠点において、「Web to Real」を高度に実現するとともに、多様化するお客様ニーズに的確に対応しております。

なお、当社は、当第2四半期連結累計期間において連結子会社であるアドリック損害保険株式会社のあいおいニッセイ同和損害保険株式会社による吸収合併に合意しております。今後、当社グループの経営資源を集中するとともに、コア事業の更なる強化を図ってまいります。

以上の取組みにより、当第2四半期連結累計期間における新規の保険契約件数は139千件（前年同期比16.4%増）、当第2四半期連結会計期間末の保有契約件数につきましても415千件（前連結会計年度末比6.2%増）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,964百万円（前年同期比21.7%増）、営業利益は984百万円（前年同期比208.1%増）、経常利益は773百万円（前年同期比414.6%増）、最終損益では、特別損失に連結子会社の事業整理損失引当金443百万円を計上しましたが、四半期純利益で364百万円（前年同期比165.4%増）となりました。また、この結果、営業利益、経常利益、四半期純利益とも過去最高益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

保険代理店事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の営業収益は3,877百万円、営業利益は972百万円となりました。

広告代理店事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は175百万円、営業利益は18百万円となりました。

再保険事業におきましては、元受保険各社との紐帯強化をベースに、当第2四半期連結累計期間における売上高は39百万円、営業損失は4百万円となりました。

なお、損害保険事業につきましては、当社グループにおける重要性が低下したことに伴い報告セグメントから除外し、その他に含めております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は363百万円増加し8,201百万円、負債は332百万円増加の3,562百万円、純資産は31百万円増加の4,639百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加506百万円であります。負債の増加の主な要因は、事業整理損失引当金の計上443百万円であります。また、純資産の増加の主な要因は、四半期純利益364百万円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ292百万円減少し、889百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、税金等調整前四半期純利益297百万円（前年同期は113百万円）等により、営業活動の結果獲得した資金は554百万円（前年同期は70百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、保険業法第113条繰延資産の取得による支出356百万円（前年同期は320百万円の支出）等があり、584百万円の支出（前年同期は572百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、社債の償還による支出240百万円（前年同期は240百万円の支出）等により、263百万円の支出（前年同期は361百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年9月期の連結業績予想につきましては、平成23年2月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」及び平成23年3月30日公表の「連結子会社の異動に伴う特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に、経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

②表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	917,405	1,210,262
受取手形及び売掛金	1,840,576	1,333,631
繰延税金資産	253,592	253,592
その他	319,205	221,557
貸倒引当金	—	△1,274
流動資産合計	3,330,780	3,017,769
固定資産		
有形固定資産	430,262	463,123
無形固定資産		
のれん	150,553	166,331
広告実施権等	169,223	187,949
ソフトウェア	400,287	216,314
その他	154,870	355,152
無形固定資産合計	874,934	925,748
投資その他の資産		
投資有価証券	197,167	201,829
保険積立金	1,078,906	1,077,756
差入保証金	660,663	566,478
その他	110,072	241,411
投資その他の資産合計	2,046,809	2,087,475
固定資産合計	3,352,007	3,476,346
繰延資産		
開業費	93,376	117,665
保険業法第113条繰延資産	1,394,769	1,169,374
その他	30,422	56,736
繰延資産合計	1,518,567	1,343,776
資産合計	8,201,355	7,837,892
負債の部		
流動負債		
短期借入金	942,500	642,500
賞与引当金	129,145	125,995
代理店手数料戻入引当金	36,747	20,929
店舗閉鎖損失引当金	6,750	—
事業整理損失引当金	443,455	—
その他	1,013,145	1,320,579
流動負債合計	2,571,743	2,110,004
固定負債		
社債	450,000	540,000
退職給付引当金	74,818	60,353
その他	465,719	519,910
固定負債合計	990,537	1,120,263
負債合計	3,562,281	3,230,267

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,915,314	2,915,314
資本剰余金	483,707	615,018
利益剰余金	405,541	205,117
自己株式	△113,417	△155,243
株主資本合計	3,691,145	3,580,207
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,761	7,295
評価・換算差額等合計	8,761	7,295
新株予約権	2,060	2,060
少数株主持分	937,106	1,018,061
純資産合計	4,639,074	4,607,625
負債純資産合計	8,201,355	7,837,892

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
売上高	3,259,043	3,964,968
売上原価	1,053,553	988,718
売上総利益	2,205,490	2,976,250
販売費及び一般管理費	1,886,072	1,992,149
営業利益	319,417	984,100
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,310	1,748
その他	20,960	5,833
営業外収益合計	24,270	7,581
営業外費用		
支払利息	20,848	16,026
開発費償却	37,758	20,046
保険業法第113条繰延資産償却	89,649	142,368
その他	45,207	40,219
営業外費用合計	193,462	218,662
経常利益	150,225	773,019
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,159	1,274
保険解約返戻金	24,032	—
特別利益合計	25,191	1,274
特別損失		
固定資産除却損	29,792	—
店舗閉鎖損失	32,016	29,878
事業整理損失引当金繰入額	—	443,455
災害による損失	—	1,958
その他	—	1,626
特別損失合計	61,808	476,919
税金等調整前四半期純利益	113,609	297,374
法人税、住民税及び事業税	17,658	13,764
法人税等合計	17,658	13,764
少数株主損益調整前四半期純利益	—	283,610
少数株主損失(△)	△41,430	△80,954
四半期純利益	137,381	364,565

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	113,609	297,374
減価償却費	151,811	184,262
のれん償却額	16,408	15,777
保険業法第113条繰延資産償却額	89,649	142,368
代理店手数料戻入引当金の増減額(△は減少)	—	15,817
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,159	△1,274
賞与引当金の増減額(△は減少)	△776	3,150
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,119	14,465
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	443,455
受取利息及び受取配当金	△3,310	△1,748
支払利息	20,848	16,026
繰延資産償却額	72,662	50,603
売上債権の増減額(△は増加)	△536,982	△496,107
仕入債務の増減額(△は減少)	△524	—
未払金の増減額(△は減少)	2,049	—
その他	42,498	△67,766
小計	△21,097	616,405
利息及び配当金の受取額	4,036	4,941
利息の支払額	△20,334	△15,105
法人税等の支払額	△47,825	△30,279
店舗閉鎖による支出	△8,954	△19,242
その他の収入	24,032	—
その他の支出	—	△1,958
営業活動によるキャッシュ・フロー	△70,143	554,760
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△166,525	△150,011
定期預金の払戻による収入	152,940	150,010
有形固定資産の取得による支出	△15,581	△167,120
無形固定資産の取得による支出	△94,911	△83,821
貸付金の回収による収入	9,171	—
保険積立金の積立による支出	△10,426	—
差入保証金の差入による支出	△150,477	△13,487
差入保証金の回収による収入	24,140	26,715
保険業法第113条繰延資産の取得による支出	△320,409	△356,864
その他	—	10,495
投資活動によるキャッシュ・フロー	△572,079	△584,083

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,066,321	1,085,000
短期借入金の返済による支出	△220,000	△785,000
長期借入金の返済による支出	△46,200	△46,200
社債の償還による支出	△240,000	△240,000
自己株式の取得による支出	△46,504	△99,450
配当金の支払額	△163,700	△163,184
その他	12,025	△14,234
財務活動によるキャッシュ・フロー	361,942	△263,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	153	△463
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△280,127	△292,856
現金及び現金同等物の期首残高	1,259,143	1,182,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	979,016	889,386

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

	保険代理店事業 業(千円)	広告代理店事業 業(千円)	損害保険事業 業(千円)	再保険事業 業(千円)	計(千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上 高	3,077,635	112,000	58,033	11,374	3,259,043	—	3,259,043
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	61,845	58,541	—	—	120,387	(120,387)	—
計	3,139,481	170,541	58,033	11,374	3,379,430	(120,387)	3,259,043
営業利益又は営業 損失(△)	336,593	△3,937	26	△12,246	320,436	△1,018	319,417

(注) 1. 事業区分の方法

経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、事業を区分しております。

2. 各事業区分の内容

保険代理店事業 生命保険及び損害保険の代理店業。

広告代理店事業 Webプロモーションその他広告業務取扱い及び企画、制作並びにマーケティング等サー
ビス活動。

損害保険事業 損害保険業。

再保険事業 再保険業。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

①報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び連結子会社を構成単位とした単位により事業活動を展開しております。

従って当社グループは事業の種類に基づき「保険代理店事業」、「広告代理店事業」、「再保険事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの概要は以下の通りであります。

保険代理店事業 生命保険、損害保険の代理店業及び付帯業務。

広告代理店事業 Webプロモーションその他広告業務取扱い及び企画、制作並びにマーケティング等サー
ビス活動。

再保険事業 再保険業。

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年10月1日至平成23年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	保険代理店 事業	広告代理店 事業	再保険事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,780,397	144,910	39,660	3,964,968	—	3,964,968	—	3,964,968
セグメント間の内部売 上高又は振替高	96,933	30,716	—	127,650	—	127,650	△127,650	—
計	3,877,331	175,627	39,660	4,092,619	—	4,092,619	△127,650	3,964,968
セグメント利益又は損 失(△)	972,371	18,922	△4,538	986,755	—	986,755	△2,655	984,100

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,655千円にはセグメント間取引消去△247千円及びのれんの償却額△2,407千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

③報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

④報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結累計期間（自平成22年10月1日至平成23年3月31日）

当社は、従来、「保険代理店事業」、「広告代理店事業」、「損害保険事業」、「再保険事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、当第2四半期連結会計期間より、「保険代理店事業」、「広告代理店事業」、「再保険事業」の3つに変更しております。

この変更は、損害保険事業におけるアドリック損害保険株式会社が、関係当局の認可を前提として平成23年6月1日においてあいおいニッセイ同和損害保険株式会社に吸収合併される見込みとなり、当社グループにおける重要性が低下したことによるものであります。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。